



平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月22日 配当支払開始予定日 平成30年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	20,086	15.6	3,207	56.7	3,126	56.1	1,723	74.6
29年3月期	17,373	△5.7	2,047	2.9	2,003	4.9	986	31.4
(注) 包括利益	30年3月期 2,686百万円(101.8%)		29年3月期 1,331百万円(42.0%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	150.19	—	10.7	11.8	16.0
29年3月期	86.00	—	6.6	7.8	11.8

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 ー百万円 29年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	27,759	19,410	61.3	1,483.19
29年3月期	25,450	17,311	60.2	1,334.11

(参考) 自己資本 30年3月期 17,022百万円 29年3月期 15,311百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	4,334	△1,114	△1,697	7,918
29年3月期	3,310	△889	△1,477	6,313

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00	298	30.2	2.0
30年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00	321	18.6	2.0
31年3月期(予想)	—	10.00	—	18.00	28.00		23.8	

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,500	7.0	2,800	△12.7	2,700	△13.6	1,350	△21.7	117.63

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期	11,500,000株	29年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期	23,104株	29年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数	30年3月期	11,476,907株	29年3月期	11,476,933株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	16,275	16.4	1,613	145.8	1,884	135.5	1,462	126.3
29年3月期	13,979	△5.0	656	43.9	800	△1.0	645	11.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期	127.40		—					
29年3月期	56.28		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	22,784	14,968	65.7	1,304.25
29年3月期	20,397	13,804	67.7	1,202.76

(参考) 自己資本 30年3月期 14,968百万円 29年3月期 13,804百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	
(1) 役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性の影響等リスクがあったものの、世界経済の緩やかな成長の中で輸出や生産の持ち直しが継続し、企業収益、雇用や所得環境が改善、内需の拡大へと繋がり、好循環が進展しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な情報関連財市場の拡大、自動車市場好調等があり、これらを背景に電子材料、ビスフェノール、自動車用特殊ビスフェノールの需要が好調に推移しました。

この結果、当社グループの当期の業績は、売上高20,086百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益3,207百万円(同56.7%増)、経常利益3,126百万円(同56.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,723百万円(同74.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当期においては、厳しい競合状況が継続したものの、売上高はほぼ前期並みとなりました。

・ビスフェノール他

ビスフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

また、ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は土木・建設材料用途に使用されております。

当期においては、ビスフェノールはLCP向けが復調し、PPSU向けも好調に推移したことに加え、ビスフェノールFの販売も好調であったことから売上高は前期を上回りました。

この結果、化学品セグメントの売上高は、8,162百万円(前年同期比12.4%増)、総売上高に占める割合は40.6%となり、セグメント利益は928百万円(同60.5%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当期においては、半導体・フラットパネルディスプレイ領域にて一部の末端製品市場に変調の兆しが見られましたが、全般にIoTやAIへの需要拡大に支えられて堅調に推移し、また、開発品の採用が進展した結果、当社電子材料の売上高は前期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材・積層板用途向け)の原料として使用されております。

当期においては、スマートフォン市場が減速気味に推移したものの、その影響は小さく、光学部品用途向け需要が堅調に推移したため、売上高は前期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、4,554百万円(前年同期比14.7%増)、総売上高に占める割合は22.7%となり、セグメント利益は658百万円(同87.8%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当期においては、需要が引き続き好調に推移したことに加え、為替換算の影響もあり、売上高は前期を上回りました。

・受託品

受注数量が増加したため、売上高は前期を上回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、6,924百万円(前年同期比19.4%増)、総売上高に占める割合は34.5%となり、セグメント利益は2,234百万円(同17.5%増)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は445百万円(前年同期比30.9%増)、総売上高に占める割合は2.2%となり、セグメント利益は28百万円(前年同期は98百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、現預金の増加(1,605百万円)、売掛金の増加(571百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(441百万円)、商品及び製品の減少(345百万円)等により、対前年同期比2,288百万円増加し、17,487百万円となりました。

固定資産は、対前年同期比20百万円増加し、10,272百万円となりました。

この結果、資産合計は、対前年同期比2,308百万円増加し、27,759百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(822百万円)、未払法人税等の増加(310百万円)、1年以内返済予定の長期借入金の減少(697百万円)、長期借入金の減少(239百万円)等により、対前年同期比209百万円増加し、8,349百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(1,425百万円)、非支配株主持分の増加(388百万円)等により、対前年同期比2,099百万円増加し、19,410百万円となりました。

この結果、自己資本比率は61.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,334百万円(前年同期比30.9%増)の収入となりました。これは主に税金等調整前当期純利益、減価償却費の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,114百万円(同25.4%増)の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,697百万円(同14.9%増)の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出、配当金の支払等によるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は対前年同期比1,605百万円増加し、7,918百万円になりました。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績予想につきましては、以下のとおり見込んでおります。

(単位：百万円)

	平成30年3月期	平成31年3月期	増減額	増減率 (%)
売上高	20,086	21,500	1,413	7.0
営業利益	3,207	2,800	△407	△12.7
経常利益	3,126	2,700	△426	△13.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,723	1,350	△373	△21.7
1株当たり当期純利益(円)	150.19	117.63	—	—

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,313	7,918
売掛金	4,691	5,262
商品及び製品	3,016	2,671
仕掛品	270	305
原材料及び貯蔵品	645	1,087
繰延税金資産	94	113
その他	167	128
流動資産合計	15,199	17,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,778	4,898
減価償却累計額	△2,984	△3,103
建物及び構築物（純額）	1,793	1,794
機械装置及び運搬具	34,844	36,069
減価償却累計額	△28,129	△29,274
機械装置及び運搬具（純額）	6,714	6,794
土地	543	549
建設仮勘定	54	74
その他	1,502	1,508
減価償却累計額	△1,207	△1,274
その他（純額）	294	233
有形固定資産合計	9,400	9,447
無形固定資産		
その他	48	36
無形固定資産合計	48	36
投資その他の資産		
投資有価証券	191	193
繰延税金資産	516	530
その他	95	63
投資その他の資産合計	803	787
固定資産合計	10,251	10,272
資産合計	25,450	27,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,714	2,537
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	958	261
未払金	401	407
未払法人税等	307	618
設備関係未払金	259	243
役員賞与引当金	15	15
その他	459	492
流動負債合計	5,116	5,574
固定負債		
長期借入金	239	—
リース債務	896	831
役員退職慰労引当金	55	30
退職給付に係る負債	1,797	1,888
その他	34	22
固定負債合計	3,023	2,774
負債合計	8,139	8,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,892	14,317
自己株式	△14	△14
株主資本合計	15,391	16,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	61
為替換算調整勘定	△90	121
退職給付に係る調整累計額	△50	21
その他の包括利益累計額合計	△80	205
非支配株主持分	1,999	2,388
純資産合計	17,311	19,410
負債純資産合計	25,450	27,759

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	17,373	20,086
売上原価	13,454	14,939
売上総利益	3,918	5,147
販売費及び一般管理費	1,870	1,939
営業利益	2,047	3,207
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
為替差益	—	14
スクラップ売却益	2	5
受取補償金	23	2
その他	4	1
営業外収益合計	34	28
営業外費用		
支払利息	49	43
撤去費用	13	23
固定資産除却損	15	39
その他	1	2
営業外費用合計	79	109
経常利益	2,003	3,126
税金等調整前当期純利益	2,003	3,126
法人税、住民税及び事業税	594	966
法人税等調整額	△17	△66
法人税等合計	576	899
当期純利益	1,426	2,226
非支配株主に帰属する当期純利益	439	503
親会社株主に帰属する当期純利益	986	1,723

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	1,426	2,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	1
為替換算調整勘定	△254	385
退職給付に係る調整額	118	72
その他の包括利益合計	△95	459
包括利益	1,331	2,686
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,006	2,009
非支配株主に係る包括利益	325	676

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	12,204	△14	14,703	20	49	△169	△99	1,836	16,440
当期変動額											
剰余金の配当			△298		△298						△298
親会社株主に帰属する 当期純利益			986		986						986
自己株式の取得					—						—
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						40	△139	118	19	163	182
当期変動額合計	—	—	688	—	688	40	△139	118	19	163	870
当期末残高	1,500	1,013	12,892	△14	15,391	60	△90	△50	△80	1,999	17,311

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	12,892	△14	15,391	60	△90	△50	△80	1,999	17,311
当期変動額											
剰余金の配当			△298		△298						△298
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,723		1,723						1,723
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						1	212	72	285	388	674
当期変動額合計	—	—	1,425	△0	1,425	1	212	72	285	388	2,099
当期末残高	1,500	1,013	14,317	△14	16,816	61	121	21	205	2,388	19,410

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,003	3,126
減価償却費	1,373	1,399
固定資産除却損	15	39
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△49	△24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△31	91
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	49	43
売上債権の増減額 (△は増加)	△523	△542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	756	△122
仕入債務の増減額 (△は減少)	209	814
その他	61	223
小計	3,861	5,045
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△49	△43
法人税等の支払額	△504	△671
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,310	4,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△883	△1,105
その他	△6	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△889	△1,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△958	△1,044
配当金の支払額	△297	△297
非支配株主への配当金の支払額	△162	△288
リース債務の返済による支出	△59	△67
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,477	△1,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	871	1,605
現金及び現金同等物の期首残高	5,441	6,313
現金及び現金同等物の期末残高	6,313	7,918

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本店に製品別の事業部を置き、各事業部は所管する製品について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントで構成されており、「化学品」、「機能材料」及び「工業材料」の3つを報告セグメントとしております。

「化学品」は、クレゾール誘導品、ビスフェノール等を生産・販売しております。「機能材料」は、電子材料、特殊ビスフェノール等を生産・販売しております。「工業材料」は、主にハイビス社の特殊ビスフェノール、受託品等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当社グループは、内部管理上、事業セグメントに資産を配分しておりませんが、減価償却費及びのれんの償却額は配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,261	3,969	5,801	17,032	340	17,373	—	17,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,261	3,969	5,801	17,032	340	17,373	—	17,373
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	578	350	1,902	2,831	△98	2,733	△685	2,047
その他の項目								
減価償却費	374	233	689	1,297	39	1,336	36	1,373

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△685百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△685百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,162	4,554	6,924	19,640	445	20,086	—	20,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,162	4,554	6,924	19,640	445	20,086	—	20,086
セグメント利益	928	658	2,234	3,822	28	3,850	△642	3,207
その他の項目								
減価償却費	321	247	774	1,343	20	1,363	36	1,399

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△642百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△642百万円が含ま
 れております。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	1,334.11円	1,483.19円
1株当たり当期純利益金額	86.00円	150.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権等潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	986	1,723
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	986	1,723
期中平均株式数(千株)	11,476	11,476

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日開示の「代表取締役及び役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。